

カリキュラム・マップ（文学部 日本語日本文学科）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、学習・教育目標のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2021年度以降入学生
対象学部学科	文学部 日本語日本文学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

■学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	必修区分・選択	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
学部共通科目		文学部総合研究	必修	1年次	文学部に属する諸学の研究の全体像を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	△
		卒業論文	必修	4年次	テーマ発掘力、調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力を養う。	卒業論文・研究	日本語、英語、ドイツ語又はフランス語	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		入門講義（現代文化）	選択	1年次	事物に対する幅広い視野を持てる。積極的に議論に参加できる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○	○	○
		入門講義（社会学）	選択	1年次	1 社会学における基礎的な概念を理解する。 2 現実社会における問題を、社会学的視角から発見する。 3 以上をとらえて社会学的な思考法を身につける。	講義	日本語のみ	◎		○	○	○	○
		入門講義（心理学）	選択	1年次	心理学における代表的な知見を学習し理解する。	講義	日本語のみ	◎		◎	△		
		入門講義（歴史・地理学）	選択	1年次	歴史・地理学各分野の概要と基礎的な方法論を理解する。	講義	日本語のみ	◎		○	○		
		入門講義（日本語日本文学）	選択	1年次	日本語と日本文学に関する知的好奇心を喚起し、理解力と読解力の向上を目指す。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	△	◎	○
		入門講義（欧米言語文化）	選択	1年次	欧米言語文化コースの各専攻の研究内容を理解する。	講義	日本語のみ	◎		◎			
		入門演習（東アジア文化）	選択	1年次	東アジアの文化を学ぶという観点から、ディシプリンの中核となる発想法や概念を習得し、併せてテキスト読解、文書作成、プレゼンテーション能力の基盤を培う。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
		入門演習（哲学）	選択	1年次	哲学を学ぶという観点から、ディシプリンの中核となる発想法や概念を習得し、併せてテキスト読解、文書作成、プレゼンテーション能力の基盤を培う。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
		入門演習（図書館情報学）	選択	1年次	図書館情報学を学ぶという観点から、ディシプリンの中核となる発想法や概念を習得し、併せてテキスト読解、文書作成、プレゼンテーション能力の基盤を培う。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
		入門演習（メディア芸術）	選択	1年次	メディア芸術を学ぶという観点から、ディシプリンの中核となる発想法や概念を習得し、併せてテキスト読解、文書作成、プレゼンテーション能力の基盤を培う。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
		入門演習（社会学）	選択	1年次	1. 問題発見力を習得できる。 2. 論理的思考力を習得できる。 3. 口頭・文章表現力を習得できる。 4. コミュニケーション力を習得できる。	演習	日本語のみ	◎		○	○	○	◎
		入門演習（心理学）	選択	1年次	心理学への関心と理解を深める	演習	日本語のみ	◎	◎	○	◎	◎	○
		入門演習（日本史学）	選択	1年次	日本史学に関する基礎的な調査能力、文献や資料の読解能力を身につける。	演習	日本語のみ	○	○	◎	○	○	△
	入門演習（世界史学）	選択	1年次	外国史に関する基礎的な調査能力、文献や資料の読解能力を身につける。	演習	日本語のみ	○	○	◎	○	○	△	

カリキュラム・マップ（文学部 日本語日本文学科）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2021年度以降入学生
対象学部学科	文学部 日本語日本文学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

■学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	必修区分・選択	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
		入門演習（地理学）	選択	1年次	地理学に関する基礎的な調査能力、文献や資料の読解能力を身につける。	演習	日本語のみ	○	○	◎	○	○	△
		入門演習（日本語日本文学）	選択	1年次	日本語学・日本文学に関する基礎的な調査能力、文献や資料の読解能力を身につける。	演習	日本語のみ	◎	△	◎	△	○	◎
		入門演習（欧米言語文化）	選択	1年次	欧米言語文化コースの各専攻の研究方法を具体的な資料を使って実践する。	演習	日本語のみ	◎		◎			
演習科目		日本語日本文学基礎演習ⅠA	選択	2年次	古典文学および現代文学の基礎的方法を、具体的実践を通して身につける。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	◎	○	○
		日本語日本文学基礎演習ⅠB	選択	2年次	古典日本語学および現代日本語学の基礎的方法を、具体的実践を通して身につける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	○
		日本語日本文学基礎演習ⅠC	選択	2年次	日本語表現学および現代日本語学の基礎的方法を、具体的実践を通して身につける。	演習	日本語のみ	◎	◎	○	○	○	○
		日本語日本文学基礎演習ⅠD	選択	2年次	古典日本語学および現代文学の基礎的方法を、具体的実践を通して身につける。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	◎
		日本語日本文学基礎演習ⅠE	選択	2年次	古典文学および日本語表現学の基礎的方法を、具体的実践を通して身につける。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	◎
		日本語日本文学基礎演習ⅡA	選択	2年次	古典日本語学の基礎的方法を発展的に学び、分析方法を身につける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	○
		日本語日本文学基礎演習ⅡB	選択	2年次	現代日本語学の基礎的方法を発展的に学び、分析方法を身につける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	○
		日本語日本文学基礎演習ⅡC	選択	2年次	具体的な古典文学作品の読解・発表・検討を通じて日本古典文学研究の基本的な方法を身につけることができる。	演習	日本語のみ	◎	◎	○	◎	○	○
		日本語日本文学基礎演習ⅡD	選択	2年次	自らの解釈を説得力をもって他者へ伝達する技術を獲得し、併せて近代小説の基礎的な研究方法を身につける。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	◎
		日本語日本文学基礎演習ⅡE	選択	2年次	日本語表現学の基礎的方法を発展的に学び、分析方法を身につける。	演習	日本語のみ	◎	○	○	○	◎	◎
		日本語日本文学演習Ⅰ	必修	3年次	日本語・日本文学の研究課題を理解し、その研究方法を習得する。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
		日本語日本文学演習Ⅱ	必修	3年次	日本語・日本文学の研究課題を理解し、その研究方法を習得する。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
		日本語日本文学演習Ⅲ	必修	4年次	研究テーマについて、調査、分析、解釈、発表する力を付ける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
		日本語日本文学演習Ⅳ	必修	4年次	研究テーマについて、調査、分析、解釈、発表する力を付ける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○

カリキュラム・マップ（文学部 日本語日本文学科）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、学習・教育目標のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2021年度以降入学生
対象学部学科	文学部 日本語日本文学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

■学習・教育目標との関連度合いを表しています。
(◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	必修区分・選択	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連						
								①	②	③	④	⑤	⑥	
基幹科目		日本古典文学概論	必修	2年次	古典を学ぶ上で基本的な知識を習得できる。	講義	日本語のみ	◎		○	○			
		日本近代文学概論	必修	2年次	「私小説」や「物語論と世界像」などの論点を通して日本近代文学を概観し、文学に対する視野を広げる。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	△	
		日本語学概論	必修	2年次	日本語学の各ジャンルについての学問的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	◎			
		日本語表現学概論	必修	2年次	日本語表現学の各ジャンルについての学問的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	◎		◎	
展開科目		日本古典文学史	選択	2年次	日本古典文学史を具体的な作品の理解を通じて把握することができる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	◎			
		日本近代文学史	選択	2年次	近現代文学を通時的に読み解き、文学作品を線的な歴史のダイナミズムの中に置き直す視座を獲得する。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	○	○	△	
		日本語史	選択	2年次	言語はなぜ、どのように変化するのか、変化の原理や方向性を把握する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	◎			
		日本古典文学講読Ⅰ	選択	2年次	説話文学の読解を通じて古典の世界の価値観、想像力やくらしぶりを理解することができる。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○			
		日本近代文学講読Ⅰ	選択	2年次	小説を解釈する力を養い、先行研究との差異の中で自らの論を客観的・説得的に提示する方法を身につける。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	○	○	
		日本語学講読Ⅰ	選択	2年次	変革期の日本語に触れ、変化の過程を把握することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		○	
		日本古典文学講読Ⅱ	選択	3年次	研究史を踏まえ、先行論を批判的に考察し、自分の読み方を提示することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		○	
		日本近代文学講読Ⅱ	選択	3年次	研究史を踏まえ、先行論を批判的に考察し、自分の読み方を提示することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		○	
		日本語学講読Ⅱ	選択	3年次	日本語や日本文化の歴史をさかのぼり、古代日本語表現の読解・理解力を高める。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○	◎	○	
		日本古典文学特殊講義	選択	3年次	各自が和歌に慣れ親しみ、興味を持って味読できることを大きな目標とする。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎			
		日本近代文学特殊講義	選択	3年次	近代の名作を多様な文学理論によって新たに読み解くことで、テキスト分析の具体的方法と技術を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	○	
		日本語学特殊講義	選択	3年次	日本語の語彙にはどのような特色が存するのかについて理解できる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○	○		
		日本語コミュニケーション特殊講義	選択	3年次	日本語のコミュニケーションについて、多角的な視点から身につける。	講義	日本語のみ	◎	○	○		◎	◎	
		日本語文法論	選択	3年次	古典を読む上に必要な文法の知識を身につけ、読解力と日本語の分析力を高める。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	△	

カリキュラム・マップ（文学部 日本語日本文学科）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
 また、それらの到達目標が、学習・教育目標のどの項目と関連するのかが示します。
 科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2021年度以降入学生
対象学部学科	文学部 日本語日本文学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

■学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	必修区分・選択	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
関連科目		レトリック研究	選択	2年次	日本語表現の技法を、多角的視点から身につける。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎		◎	◎
		古典文学資料読解	選択	2年次	古文字資料に触れ、日本古典資料とその取扱いに関する基礎的知識を習得するとともに、古典研究の土台としての重要性を認識する。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		
		日本近代文学Ⅰ	選択	2年次	近現代の詩を扱い、詩人の芸術的世界の内実を理解すると共に、詩作品を解釈する力を養う。	講義	日本語のみ	◎		◎			
		日本近代文学Ⅱ	選択	2年次	基本的な知識と教養を身に付けるのに加え、同時代の文化問題とも密接に絡めることで、現代文化に対しての学生個々の問題意識と課題への認識を促す。	講義	日本語のみ	◎		◎		○	△
		日本語教育研究Ⅰ	選択	2年次	現代日本語の文法について理解し、学習者がどのように習得しているのか把握する	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	◎
		日本語教育研究Ⅱ	選択	2年次	現代日本語の文法について理解し、学習者がどのように習得しているのか把握する	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	◎
		漢文学Ⅰ	選択	2年次	漢文の基本構造を理解し、漢文文献を訓読法で読むための基礎的な力を身につけることを目標とする。	講義	日本語のみ			◎			
		漢文学Ⅱ	選択	2年次	辞書を頼りに漢文の白文を解説する技能の修得を目指す。	講義	日本語のみ			◎			
		外国語としての日本語	選択	2年次	日本語を母語としない人の立場から捉えなおす力を養う。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○	○	◎
		教育方法論	選択	2年次	教育方法の原理を理解するとともに、学校教育における授業の編成方法、情報機器を活用した指導法を身につける。	講義	日本語のみ	◎			○	△	
		国語科教育法	選択	2年次	国語科に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	講義	日本語のみ		△	◎		○	○
		国語科指導法Ⅰ	選択	2年次	国語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	講義	日本語のみ		△	◎		○	○
	国語科指導法Ⅱ	選択	3年次	国語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	講義	日本語のみ		△	◎		○	○	
他学部科目		G I S概論	選択	1年次	「地理空間情報高度活用社会」実現に向けて、それぞれの分野や地域において今後どのようにGISを活用していくか考えられるようになることを最終目標とする。	講義	日本語のみ	○		◎	○	△	
		まちづくりとデータ分析	選択	2年次	統計資料などの既存データやアンケートやヒヤリングなど現地調査によるオリジナルデータの集められるようになること、収集したデータの種類の種類に即した処理・分析ができるようになること、得られた結果をどのようにまちづくりに生かしていくかについて考えられるようになることを最終到達目標とする。	講義	日本語のみ	○	△	○	◎	○	△
		地域資源論	選択	3年次	「地理学」に関連する理論をもちいて、様々な地域資源の発見、活用を自分なりに理論立てて説明できるようにする。	講義	日本語のみ	◎		○		△	

カリキュラム・マップ（文学部 日本語日本文学科）

【カリキュラム・マップの目的】

科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、学習・教育目標のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

対象入学年度	2021年度以降入学生
対象学部学科	文学部 日本語日本文学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

■学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

区分	科目コード	科目名	必修区分・選択	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
		英米の地域と文化	選択	2年次	英米の文化や歴史の基本的な概要を把握し、各国の観光スポットについて理解し、異文化への魅力を育成する。ツーリズムに必要な知識を英語で学ぶことで、旅行に必要な最低限の英語力も獲得する。また旅行プランの作成を通して、協調性、インターネット等を利用した情報収集・集約スキル、プレゼンテーション力を向上する。	講義	日本語のみ	△		△		○	◎
		多文化共生論	選択	3年次	外国人集住地域から学び、「多文化共生」を自分の地域に引き寄せて問題点の発見や解決策について考察する。	講義	日本語のみ	◎		△		○	○